

安行小の環境学習・活動の紹介

エコマーケット

「チェンジメーカーになろう」

菊次 哲也

安行小では学校の中だけで使える環境通貨として「くすのきチケット」を発行しています。自然や環境について学び、エコ活動を実行して、くすのきチケットを手にいれ、実行したことをさらに次の取り組みにつなげていくという循環型のエコ活動を目指しています。

児童会のエコキャップ回収に参加するとくすのき、牛乳パック、古紙回収ならくすのきもらえます。学期に一回は行われるエコマーケットでは、くすのきチケットを使って、種や苗、メダカの卵、メダカ、ザリガニなどを買うことができます。

エコマーケットでは子ども達がチェンジメーカーなることを目指しています。チェンジメーカーとは、貧困、環境、戦争といった社会問題をビジネスの仕組みを使いながら、新しいアイデアで解決する社会的起業家のことを言います。

今年の安行小まつりでも、たく

さんのお店ができました。お店の数は三八店舗。

今年、参加人数は百人を超えました。友だちと協力して、手作



りのエコグッズを考え、スケジュールをたて、お店の看板や値札も作って、まつりの日を迎えました。エコマーケットでの売り買いはくすのきチケットですが、安行小以外の子どもたちや地域の方はくすのき十円として現金でも買うことができます。収益金はやぎ募金にまわしています。

今年、新しい取り組みとして、児童会が「ラオス子ども物産展」を開きました。ラオスの子どもたちが手縫いの刺繍で作ったミサンガや財布、バッグを児童会が預かり、現金販売して、その収益金をラオスの学校に寄付しました。

エコマーケットの収益金によるやぎ募金は二万二千二百円。ラオス物産展は完売して二万六千円にもなりました。子どもたちは達成感で喜びにあふれていました。小さなチェンジメーカーたちの大きな一歩となりました。